

## 献 辞

神田善弘先生は、2007年3月末を持って本学を定年退職されました。先生の13年にわたるご貢献に対し、感謝を込めて本号を先生の退職記念号としてお贈りいたします。

神田先生は、1954年海外市場調査会（現日本貿易振興機構、略称ジェトロ）に入社され、1960年関西大学経済学部を卒業されるとともに、ジェトロ本部・大阪・高松・静岡・長野の各貿易情報センターに勤務されました。また、ジェトロ及び本学在職中を通じて日本各地での貿易に関する講演の他、海外活動も豊富で、オーストラリア・メルボルン Japan Trade Center における勤務経験とともに日本産業巡航見本市船で東南アジアに出張或いはジェトロ、JICA、富山県等の依頼によりロシアのウラジオストック、モスクワ、ニジニノブゴロドでの貿易セミナー講師としてもご活躍されています。

本学には、1994年に貿易商務論担当教員として着任され、学部・大学院商学研究科で教鞭を執られながら、本学の就職部長、商経学会理事を初め、日本貿易学会監事・理事、国際商取引学会理事、アジア市場経済学会監事・理事、日本商業英語学会（現国際ビジネスコミュニケーション学会）監事等でご活躍されました。

大学は今、構造変革による競争の時代に入っておりますが、先生は就職部長時代（現キャリアセンター）に『資格取得講座』を導入され、学生を資格取得によるビジネスへの即戦力化に導くことに努力されるとともに、実践体験型教育を推進され、産官学連携事業として、特殊講義

『貿易実践講座』を立ち上げられました。これは、社会人と学生による共同学習プロジェクトとして、前期はデザイナーと貿易専門家による「デザイン学習」を行い、そこで出来上がったアイデアを夏季期間中に「中国で試作」し、後期は地域の貿易専門家による「貿易実践講座」を開催するとともに販売のためのプレゼンテーションを行うなど「輸入販売をターゲット」にするという講義で、これまでにない特色ある実践教育の導入でした。

先生のご専門は「貿易商務論」であり、特に、貿易取引条件並びに外国為替平価等の研究をされてきましたが、退職後は、貿易契約における法律・慣習等の思考方法や行動様式の日本と米国を初め諸外国との相違の原因をについて、言語構造・自然条件・宗教等の視点から研究されると伺っております。

どうぞ今後とも、ご健康に留意され、一層ご活躍されますよう教職員一同心から期待いたしておりますとともに、将来にわたりご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げて、献辞とさせていただきます。

2007年5月15日

広島修道大学商学部長 近藤和明